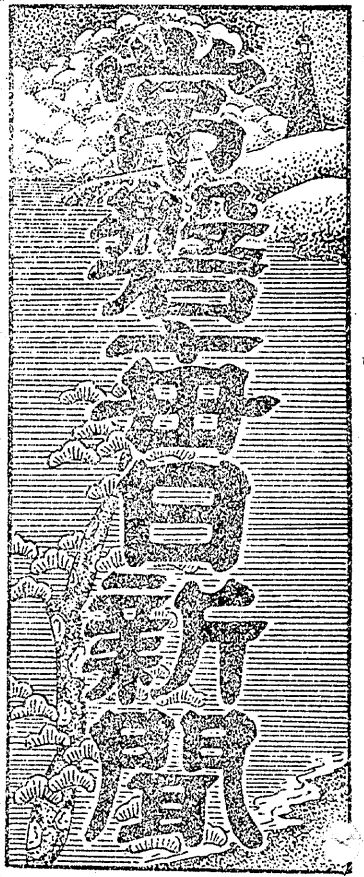


【刊夕】日七十月二十



定価一圓二錢五分 郵費五錢 印刷費一圓二錢五分 紙料費一圓二錢五分 印刷部 發行部 編輯部 庶務部 印刷部 發行部 編輯部 庶務部

宇宙の眞理

澤地孝夫

音楽家が多くの愛弟子に、秘曲を傳へる。科學者が多くの愛弟子に、學理を傳へる。吾々は其の幾分かを、尋と場所を異にして學び、そして此の精神を傳へる義務を感じてゐる。

秘曲や學理が宇宙に置き去られ人間界から途切れ、絶えても、幾度となく現れる、吾々は其の現すべき人でありより崇高なものを創造する、最初の人の立場に歸る義務を感じてゐる、宗教とは一山の奥深く、籠るべきを云ふのではない、救ひの道は一山の奥にのみあるのではない、世界の宗教は釋尊に起りキリストに移つて其等の教は普く傳へられてゐる。永く平和と戦争を経験した人類は、平和と向上を永く傳へんとして人間の最初にして最後の大理想を今にも達し様としてゐる、音樂も宗教も科學も傳へられ宇宙間のは變化し進化して傳へらるゝのが眞理である二千五百有餘年傳はる日本



深更の風景

田村 想人

煙し出された
涼み台から見た
夜更の街は
音のない
静かな黒繪の風景だ
月が金木犀に乗つて
沈黙破つて
何所からか
音のない
素晴らしい
管絃樂が聞えて来る。

君去りて

立八 重子

かの夜
月、かくは美しくからざりしかど
君が顔、いと美しき
紅白に耀きて。

かの夜

風かくは温かならざりしかど
わが胸、いと高く
紅き焰に燃えたり

今宵
月美しく、風微し
さはれ、心あやしくも悲し
み

木苗

岡田みのる

刺のある枝なんだけれど
木苺は
山は紅く熟れるのです
少年は
みすぼらしい跛なんだけれど
いつか、人の世の
夏を悟るのです
だから女よ
お前に
木苺を捧げる少年の手は
劇しく顫えるんだよ。
一昨夜御地馳様でした。
詩南車に來て居りました詩
二三篇御送りします。

川崎様

片寄 歌二

新年文藝原稿であうませ
ん。御願ひまで

白木様

磐城セメント會社特約店

大釜屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番
△良品廉賣に勝る商略なし
△確實敏捷は釜屋の生命なり

レコード破りの石炭大廉賣

◎品が良く「値は安く」をモットーとする當店は此
度破格の格安石炭を販賣開始致します
◎値が安くとも品は悪くはありません
◎磐城炭礦の處分的大堀物です、品物の無くならない
中に御注文下さい
◎配達は一俵より致します

御注文は

電話二二七番へ

阿部石炭商店

十二月十三日ヨリ

十九日マデ

最新柄を豊富に取揃へて江戸襦。丸帯。御紋付。袴
御婚禮用品特賣
江戸襦下着丸帯仕立上り
松五十圓。竹八十圓。梅百二十圓

七五三祝着特賣

尺三丸帯。錦紗友禰。富士絹友仙。モスリン友仙各種
三井の超特賣品
着尺モス新柄
友仙モス上生地一丈物 二圓五十錢
新モス友仙半反 七十五錢
甲斐羽織 一圓五十錢
レイヨン 羽裏 五十錢
白時ネール一丈物 五十錢
新柄ネール一丈物 八十錢
三井の特製足袋壹萬足限り
白キラコ一足五錢 絹天一足五錢 黒朱子一足三錢

平町 三井吳服店
電話三八番 二八四番

磐城セメント株式會社

代理店 西村屋藥舖
平町二丁目「電三」

セメント
壁用材料
コーラタール
ペンキ塗料
板ガラス

お醤油は ヤマフル

醤油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

山崎合名會社

福島縣 平町
電話(營業部一〇番)
(醸造工場二七番)

正統メガネ
無料検眼
各眼科院御用
根木時眼鏡店

新春紙本「新年文藝懸賞募集」
 頭飾の飾る
 締切 十二月廿日
 用紙 官製はがき
 宛名 本社文藝部

和歌 『山』 一人各 高久晚霞氏選
 『羊』 三人各
 俳句 『春着』 一人各 渡邊何鳴氏選
 『若菜』 三人各

童謡 『正月』 二人各 川崎小鳥氏選

詩 隨意 二人各 片寄耿二氏選

短歌 『光』 一人各 五首限 白木英尾氏選

●投書には「新年文藝」と種目とを必ず明記すること
 ●入賞者を一名 二等二名 三等三名に分ち各賞品を呈す

小炭礦制限

木曜會で作成中 廿日頃出來上る

常磐地方における三十餘の有無煙炭礦をして大炭礦なみに明年度から
 出炭制限をはから
 うとする問題の小炭礦の出送制限は既報の如く大炭礦の販賣機關である木曜會が専心制限案の作製を急ぎつゝあるが遅くも二十日まで出來上る筈で同會ではそれにより各礦主と夫々交渉を試みる事とな

断行しようとする出送制限は前年度の平均率をとる關係上或は三十五万噸に對する一割位の制限を求める事となるかも知れない

小資金貸付

極貧者救済に 授産事業開始

淨財四百五十圓の處分

平町同潤會では極貧者救済の資金として全町三千余戸からの淨財四百四十五圓六十一錢の喜捨を得たのでこの處分について協議の結果(一)来る二十六日平町在住極貧者三十三世帯百二十六名に一人當り五合宛の白米を贈り慰問すること(二)舊歲末に當りこれまた極貧者に一人當り五十錢平均の現金を贈り救済すること(三)小商資金として一人三圓もあれば野榮行商等が出來るので約七十日を限度として小商資金を貸付けることに決定したが更に近く授産業をも開始すると

大打撃

漁業家には 歳末搔入時を加へ 漁獲がない

石城地方各濱に於ける目下の漁業は甚だ振るはず四ツ倉、久ノ濱等はほとんど漁獲なく豊門、大敷網もまた好漁に恵まれず江名、小名

就職希望兒

昨日現在で

平職業紹介所へ申込んだ石城郡下各小學校卒業生就職希望者は昨日現在で

神谷	男 一四	女 一
平第二	男 九	女 一
内郷	男 四九	女 一六
好間	男 八二	女 三
平窪	男 六	女 一
湯本	男 一	女 八
小名濱	男 三	女 一
合計	男 百六名	女 四十名

秋刀魚不漁に終る

當業者何れも欠損

本縣各濱における秋刀魚漁は各濱とも本月に入つて以來不漁で漁業無電の聯絡放送を聴取しても各縣共に漁獲なく最早殆ど漁期を終つた模様で當業者は見切りをつけたが目下のところ秋刀魚船は最高江名町加澤萬五郎氏所有の漁船すら漸く一隻七千五百圓の漁獲高にすぎず當業者は何れも欠損でこぼし切つてゐる

最高十七割

平驛員の賞與

平驛關係の鐵道職員六百余名は十五日ボーナスを支給されたが總額三萬八千余圓で判任官は最高十七割平均十一割昨年と殆ど變りなくいづれも喜んでゐた

旅館 一力

浪江驛前

郡養蠶同業組合植田支部主催桑園立毛品評會褒賞授與式は十五日午前十時より植田小學校にて舉行されたが



子宮病血の道の方は左記の良薬をお用えになれ
 ばラクに自宅で退治出來ます
 平町古鍛冶町
 一手特約店 阿康薬舗
 電話 四四番

宮温湯 (腰部をアタタメ子宮病を治す)
 美神湯 (服薬血の道薬)

學生外套特賣

酷寒。強雨。耐。生地 100パーセントの型仕立 100パーセントの黒い外套 特價提供
 中學用(極上)8,500錢
 小學用(同)5,500錢
 全部頭巾付

平二 電 203
 なかや洋服店

酒場開設

此の勉強振りを御覽下さい
 銘酒 一合
 (おこのみによりお燗します)
 焼酌 一合
 ブド一酒 一合
 ウエスキ 一杯
 サイダー 一本

一均錢十

湯豆腐一皿三錢 肉鍋一皿十五錢
 三丁目横町 (平警察署通り)

酒場

學校をして眞に 生徒等の樂園に

平商業學校の新施設

本年度から授業は午前中だけ 午後は德育や体育に主力傾注

平商業學校にては來年度から現在の四學年が進級し始めて五學年級が新設される事になつたが實業教育制度の

改正を

機として授業時間を毎日午前中に止どめ午後は主として德育や体育の方面に主力を注ぐと共に學校をして生徒等の樂園たらしめんが爲め野球、庭球、文藝、辯論等各俱樂部の充實を期し學校教育智識と趣味の源泉と爲す計劃にて其

一着手

に先づ來春早々ピンポン臺二臺を設備して生徒等の使用に委せる等着々準備を進むる由である右に關して吉田校長は語る「從來の學校教育なるものが餘りに無味氣の操に失し生徒等をして喜んで學ばしむるといふ點に關しては甚だ

等閑視

されて居たと思ふ、是れでは眞の教育の徹底を期し難いので私は先づ第一に生徒等に對してかれ等が喜んで而も楽しんで登校する氣分を持たしめたと思ふのです、夫れには學校が生徒に對する重荷で

生徒等

が嬉々として親しめる處でなくてはならない、此點は小學校は殆んど完全の境に達して居る、其處で本校もかれ等の娛樂機關たる會辯の俱樂部をもつと盛んな充實したものであらしめたいと思ふのです

これは經費も要する事でありますから直ちに實地を期するといふ譯には行かぬでせうが漸次此の方面に 向つて手を染めたいと思ふのです、現に私の學校には午後の三時に授業が終りましたも午後五時迄の汽車を待たねばならぬ汽車通學の生徒があまり

方面に

向つて手を染めたいと思ふのです、現に私の學校には午後の三時に授業が終りましたも午後五時迄の汽車を待たねばならぬ汽車通學の生徒があまり

借金王目當てに 農民が不穩文書

盛んに配附して

平署に檢束

水田を

一時は石城郡内に於ける借金王と迄云はれた泉村阿部忠安は數年以前小名濱町松の内松本平一郎(三)外五十名に小作せしめて置いた

和田角次郎に譲渡したが小作人等は此事を知らず依然として「阿部を地主の旦那」と思ひ込み年々小作料を阿部に納めて居た所本年前地租田から小作人等は嚴重な

督促を受けた爲め今迄阿部に一杯食はされて居た事に氣付き、小作人組合を組織し争議を起して地主に對抗せんと東京から農民組合執行委員江田健、大澤英一の兩名をリーダーに招き應援を乞ふた爲め兩名は昨日本村先づ小作人に對し不穩な文書を配附し運動に取りかゝつたので兼ねてより警戒中であつた平署に直ちに

文書類を押收すると共に右の兩名及び前記小作人松本外一名を平署に檢束

横領局員が
娼妓と逃走
數千圓を拐帶
四倉町に潜伏

十五日の夜石城郡四倉町柏屋旅館に男女二名の舉動不審のものがあるのを四倉署員が取調の結果、京都府下大崎村郵便局の公金數千圓を拐帶逃走した

犯人で 搜索手配中のものなる事判明した、男は大阪府阿武野村伊太郎長男、元京都府下大崎村郵便局通信事務員吉田伊久治(三)女は福岡縣久留米市生元京都市東山区宮川町四丁目市原樓の娼妓淺見はるよ(三)で吉田は昭和二年六月から前記大山崎郵便局に働いてゐる内本年に至り

數千圓に亘り公金八百圓更に去月二十六日公金

コソ泥が捕る 石城郡神谷村中神谷西山傳一(三)は去る七月十六日同村志賀己之助方に忍び入つて銀鎖付銀側懷中時計一個價格十五圓を窃取したのを手始めに同村數ヶ所に於て空巢ねらひを働いたこと發覺十四日平署に御用

女房殺求刑 言渡は廿二日 内縁の妻鈴木シヤクを殴り殺した双葉郡新山町新妻高義(三)の傷害致死事件公判は昨日午後一時から平支部に於て中島才判長係り公判開廷、武田檢事から懲役四年の求刑あり午後三時閉廷廿三日言渡ある筈

お芽出度い役 満貫「天和」 平マージャンクラブで十四日大會を開いたが湯本町から參加したある君は「天和」

ガチャヤ市 袋叩きに 三名平署へ 石城郡田人村緑川己之助、同平蛭田金平、川部村桑名直の三名は十四日小名濱町にて同町のガチャヤ市事川部市松(三)に喧嘩を吹掛けられ遂に袋叩きと爲した爲め平署に檢束されたがガチャヤ市は同町料理店や飲食店の地廻りにて常に町民からマムシの如く恐れられて居た男である

後藤朝太郎 後七、〇〇 ニューズ 職業指導と國民の生産性の伸張「理學博士 輝峻

後八、〇〇 落語「無筆の妻」月の家圓鏡 一つが後八、三〇 二つは一つが後八、五〇 六つは一つが後八、五〇 義太夫「双蝶々山輪日記」淨瑠璃豊竹駒太夫 三味線鶴澤重郎橋本の段

後九、四〇 時報 氣象通豫告 全國ニューズ 番組

北西の風天氣よ 十八日 報徳氣天

明日のラジオ 十八日 報徳氣天



東京橋場刺青 (米田安藏)

「お千代は刺青の癖は無論お虎の友達だらう、金銭上の争ひから殺したのか、夫れとも遺棄されたのか、夫れは分らないが、殺した奴は友達が刺青を打つた奴に、お千代は夫れに答えず「お前、何んだ」と安藏に尋ねる。

「何んだ」と安藏は尋ねる。お千代は夫れに答えず「お前、何んだ」と安藏に尋ねる。お千代は夫れに答えず「お前、何んだ」と安藏に尋ねる。



「お千代は夫れに答えず「お前、何んだ」と安藏に尋ねる。お千代は夫れに答えず「お前、何んだ」と安藏に尋ねる。お千代は夫れに答えず「お前、何んだ」と安藏に尋ねる。

て總は命用御の物刷印
番〇三六話電 會株式刷印日每警常

丸昌
緊縮時代 實質本位 薄利多賣 多量購買 経費節約 調理食品 調味料 多量購買 経費節約

尖端宴會 圓會 五銖品 半圓會 三銖品 供付

ホール建設一週年記念出前 惣菜部開設

カレーライス 一〇〇 コロッケ 一〇〇
ハヤシライス 一〇〇 魚フライ 一〇〇
チキンライス 一五〇 カツレツ 一五〇

丸昇軒 電話四三九

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器

關内藥局
電話四〇番

おき小鳥と
鳥肉は
電話二八六番へ

時節から御客様のお望みに
添ふ様御勤め致します
良い肉安く賣る店

鳥菊 平南町

外科 性病科 科
X光線科 科
安齊外科醫院
平町田町(赤心堂病院跡)
電話四七五番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科

平南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院

看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

世界的靈狐術
宗家歸天濟正一師一行

世界的靈狐術 コミツク曲藝
嶄新講談 落語 珍藝
高級萬歳 即席問答
音曲 滑稽 輕口
其他種々

當ル十二月十八日ヨリ
每日午後五時開場 聚樂館
後一クラブ化粧品本舖
援一平町代理店販賣店

毛糸編物講習會
期日 自十二月二十三日至二十九日 七日間
每日午前九時から午後四時まで
會費壹圓也

御希望の編物を個人教授致します
平町 平陽女學校講習會

吉田眼科病院
平町屋町、電話六八八番

江戶 季節 鳥料理
前 忘年 小宴會
新年 小宴會

時節柄値下斷行致しましたから御
來駕をお待しています

平館隣り
魚 榮
電話四二四番

看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番